

木樹脂® スクリーン 組立施工マニュアル

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。

組立・施工の前に

- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルは施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐食を起し思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむらの外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等が入っていないものをご使用ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分ご注意ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時にご注意ください。
- 基礎施工時は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

- スクリーン本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- スクリーンをみだりに改造、変更しないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。

使用上のご注意について

- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。

- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- スクリーンに電線等を直接載せないでください。

- スクリーンの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分ご注意ください。又、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたくようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

※「木樹脂」は新日軽の登録商標です。

もくじ

梱包明細.....	2	2. 金具の取付け.....	5
納まり図.....	2	2-1 下部受金具の取付け.....	5
施工の要点と注意事項.....	3	2-2 中間固定金具と上部固定金具の取付け.....	5
1. 柱の設置.....	4	3. パネルの取付け.....	6
1-1 柱の埋め込み.....	4	3-1 パネルの取付け.....	6
1-2 コーナー自在柱の組立て.....	4	3-2 梁の取付け（梁ありの場合のみ）.....	7
（コーナー自在柱を使用する場合のみ）.....	4	3-3 柱キャップの取付け（主柱のみ）.....	7
		4. パネルの切詰め.....	8
		施工工事店様、販売店様へのおお願い.....	8

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- マニュアルに記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の()は個数を表わしています。

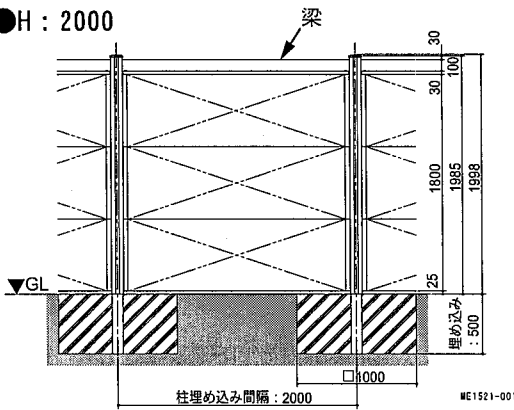
梱包名称		梱包内容
パネル	本体	本体(1)
	端部カバー	端部カバーセット(2)・ビスセット(1)
	基本用取付金具	上部固定金具(2)・下部固定金具(2)・φ4×25セルフドリリングビス(8)・φ4×10トラスタッピン3種(4)
	中間部用取付金具	中間固定金具(2)・φ4×25セルフドリリングビス(4)・φ4×10トラスタッピン3種(4)
柱	主柱	柱(1)・セット部品(1)・組立施工マニュアル[ME-1521](1)
	コーナー自在柱	コーナー柱セット(1)・セット部品(1)
梁		梁(1)・セット部品(1)

納まり図

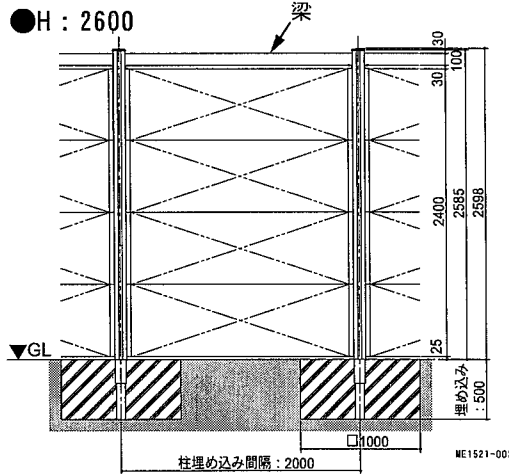
●下記納まり図は、「梁あり」の外観図を示しています。

直線納まり

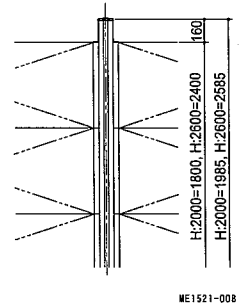
●H : 2000



●H : 2600

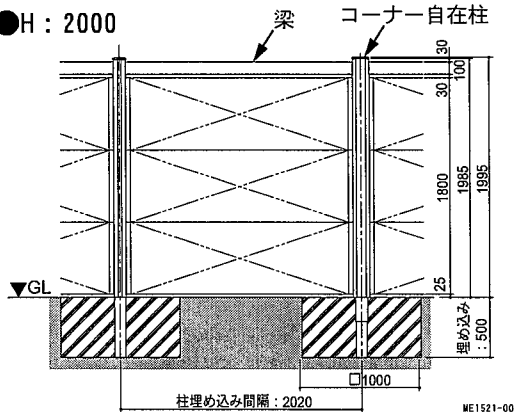


■梁なしの場合

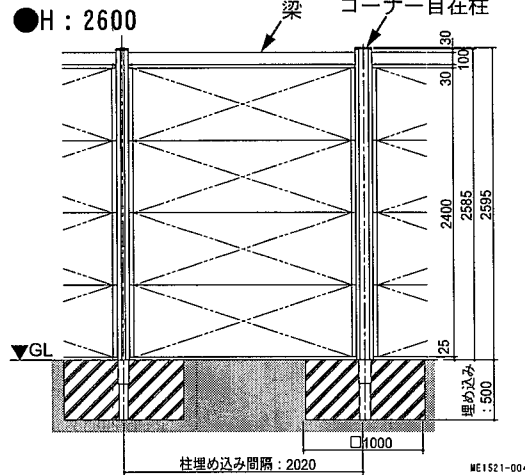


角度自在コーナー納まり

●H : 2000



●H : 2600

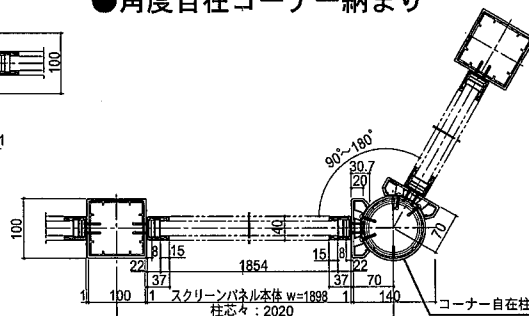


■断面図

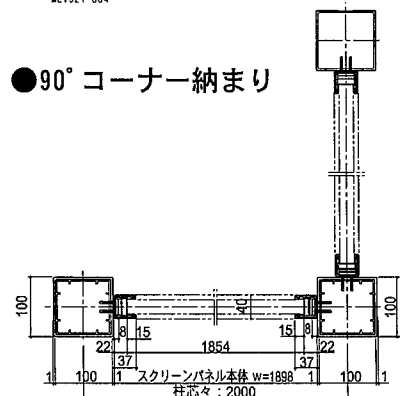
●直線納まり



●角度自在コーナー納まり



●90°コーナー納まり



施工の要点と注意事項

●施工前に必ず確認してください。

パネルの組み合わせ

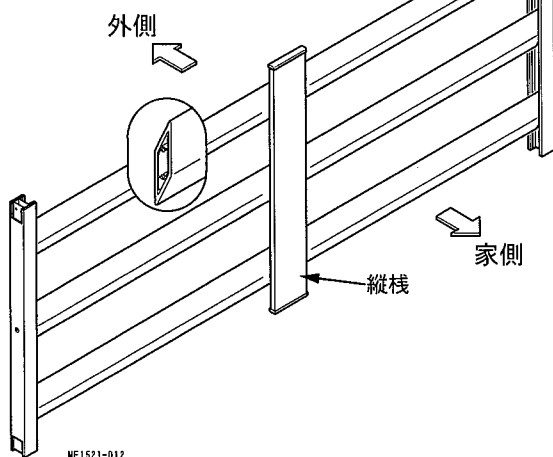
木樹脂スクリーンは、3種類のパネルを自由に組み合わせることができます。ただし、3型ルーバーパネルの上部は、ルーバーが5mm突起しているため、ルーバーパネルの上に、密ラチスパネルを設置することはできません。

パネルの表裏について

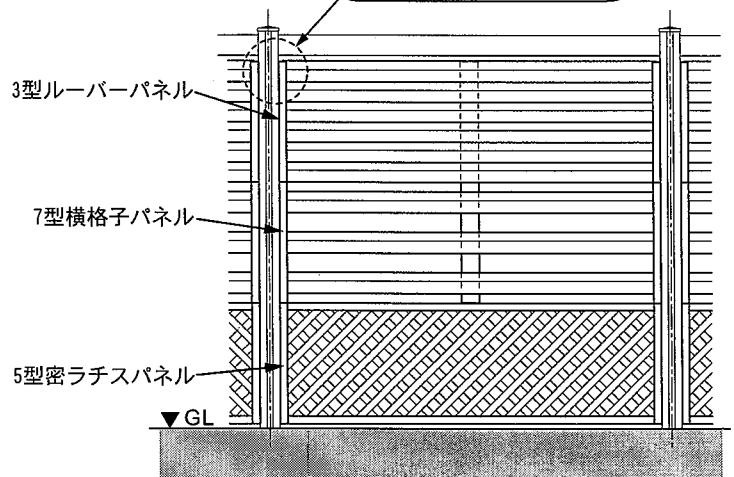
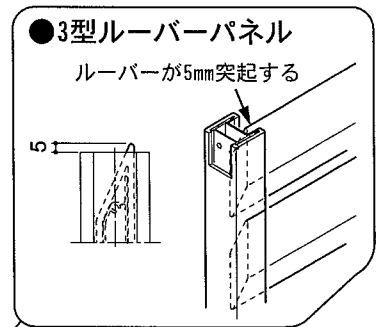
3型ルーバーパネルおよび7型横格子パネルには、表裏があります。

縦棧取付側を家側にしてください。

(ラチスパネルには、表裏はありません。)



ME1521-012



ME1521-010

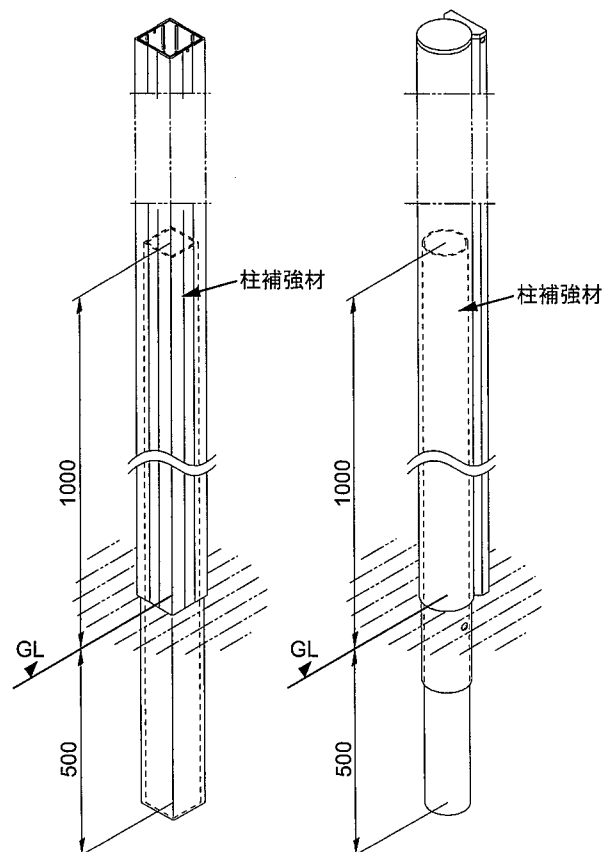
下孔加工について

H:2600用主柱およびコーナー自在柱の場合、柱下部から1500mm (GL から1000mm) の位置まで、柱補強材があります。

この位置に、セルフドリリングビス止めを行う場合は、φ3.5mmの下孔をあけてください。

●H:2600用主柱

●コーナー自在柱



ME1521-011

1

柱の設置

- 「納まり図」で巾や高さ寸法を確認してください。
- コーナー自在柱を埋め込み後、柱上部にスペースがない現場では、柱を埋め込む前に、コーナー自在柱を組立ててください。

1-1 柱の埋め込み

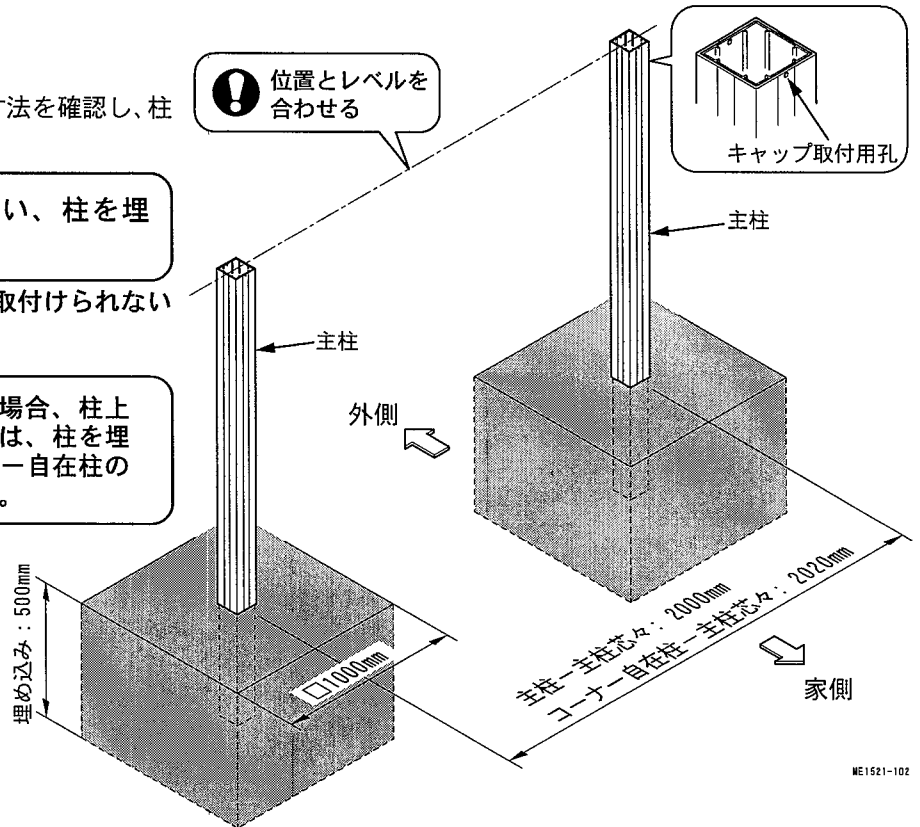
「納まり図」で柱の埋め込み位置や高さ寸法を確認し、柱を設置してください。

! レベル合わせを正確に行い、柱を埋め込んでください。

※レベルが合っていないと、パネルを取付けられない場合があります。



コーナー自在柱を使用する場合、柱上部にスペースがない現場では、柱を埋め込む前に、「1-2. コーナー自在柱の組立て」を行ってください。



ME1521-102

1-2 コーナー自在柱の組立て (コーナー自在柱を使用する場合のみ)

①コーナーの角度を決め、セルフドリリングビスで、アルミ形材を柱に取付けてください。

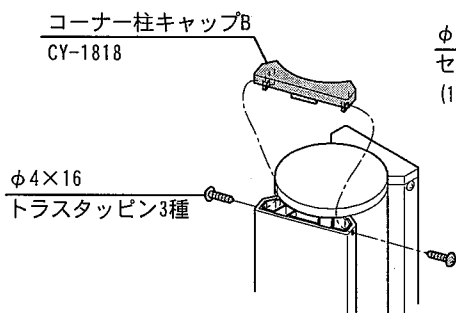


柱補強材の位置に取付ける場合は、 $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけてください。

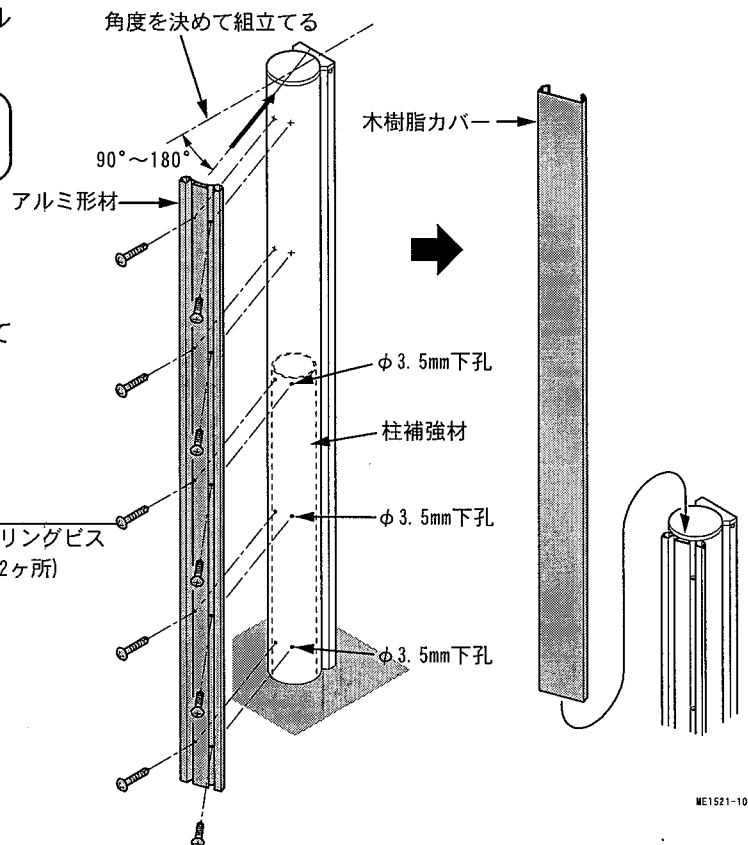
ビス止め	H:2000	10ヶ所
	H:2600	12ヶ所

②木樹脂カバーを、アルミ形材に上部からスライドさせてはめ込んでください。

③コーナー柱キャップBを取付けてください。



ME1521-103



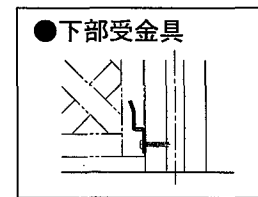
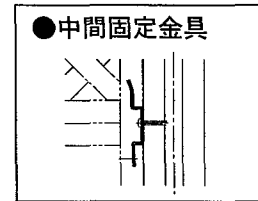
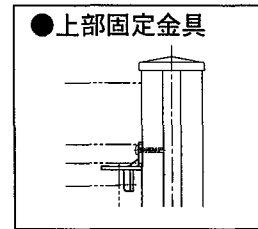
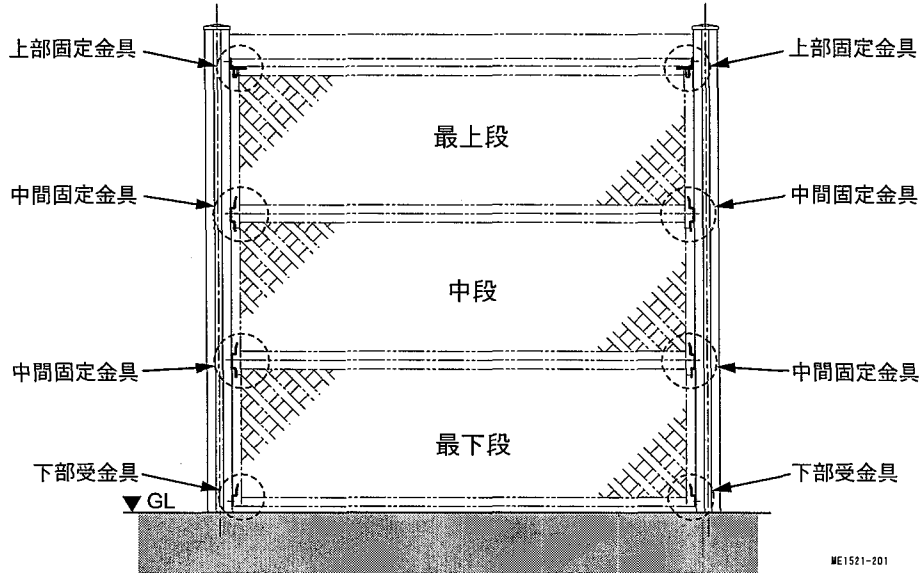
ME1521-101

2

金具の取付け

●パネルを取付けるための金具を、柱およびパネルの両側に取付けてください。

■金具取付図

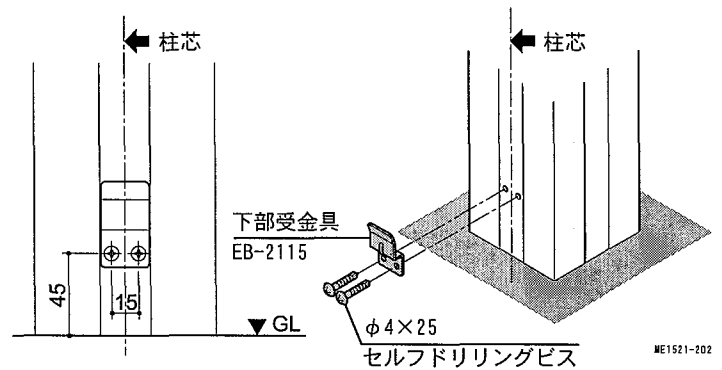


2-1 下部受金具の取付け

①下部受金具を柱に取付けてください。
取付位置については、右図を参照してください。

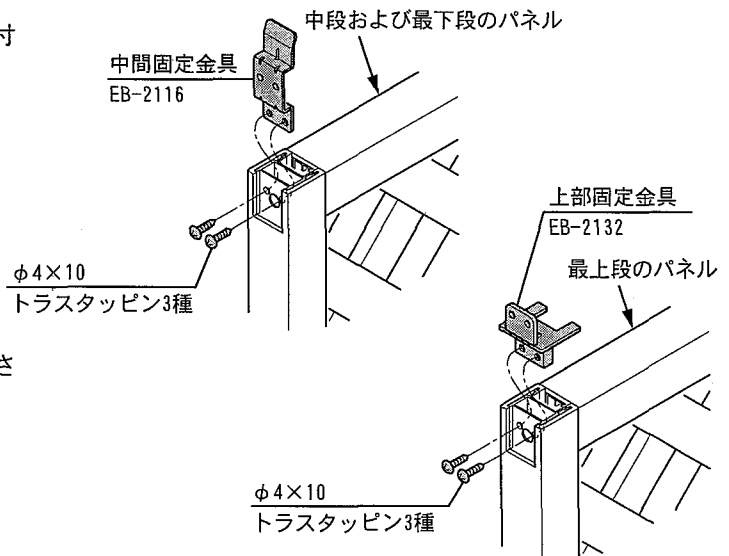


- 柱の溝を目安に、金具を柱芯に取付けてください。
- 柱補強材の位置に取付ける場合は、 $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけてください。



2-2 中間固定金具と上部固定金具の取付け

①中間固定金具を、中段および最下段のパネル上部に取付けてください。



②上部固定金具を、最上段のパネル上部に取付けてください。

3

パネルの取付け

●パネルを取付後、梁および柱キャップも取付けてください。

3-1 パネルの取付け



最下段からパネルを柱に取付けてください。

①最下段のパネル下部を、下部受金具にはめ込んでください。

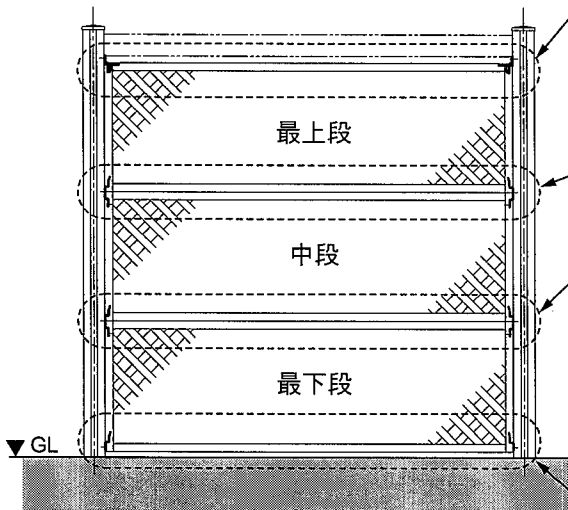
②セルフドリリングビスで、パネル上部の中間固定金具を柱に取付けてください。



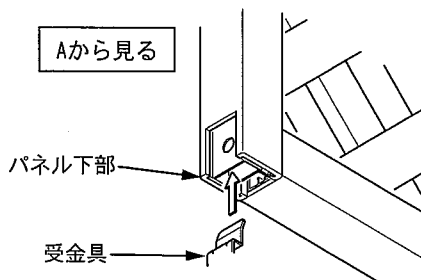
●柱の溝を目安に、金具を柱芯に取付けてください。
●柱補強材の位置に取付ける場合は、 $\phi 3.5\text{mm}$ の下孔をあけてください。

③中段のパネルを同様に取付けてください。

④上部固定金具付きのパネルを、最上段に取付けてください。

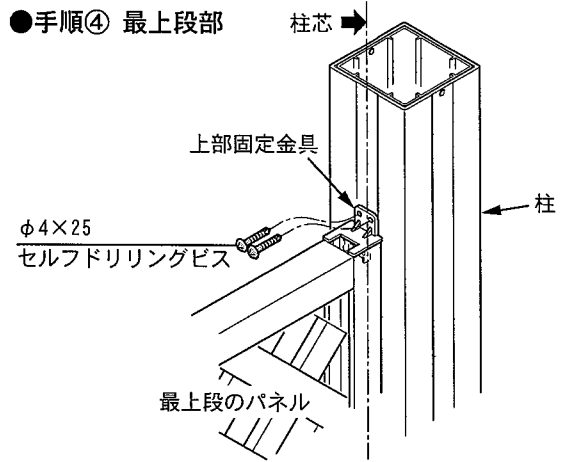


ME1521-301

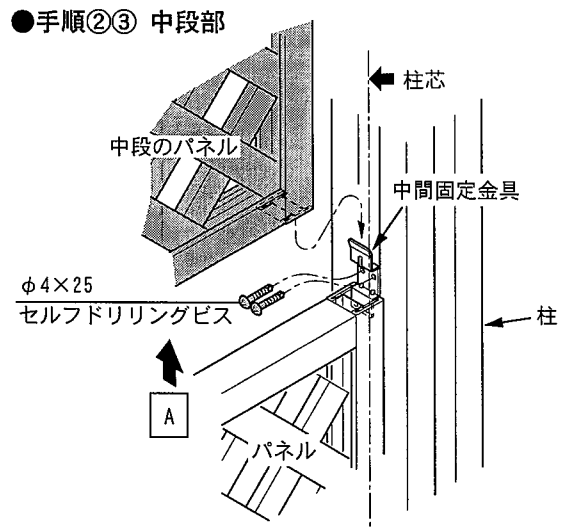


ME1521-303

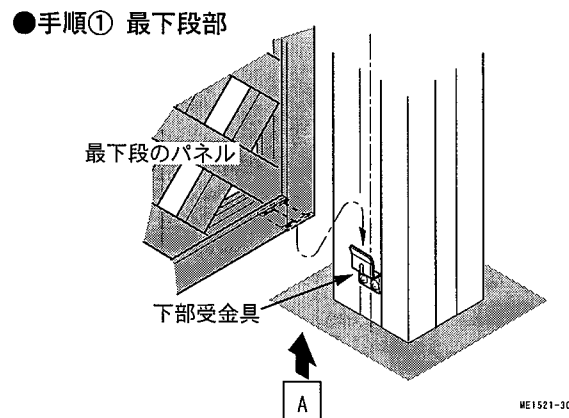
●手順④ 最上段部



●手順②③ 中段部



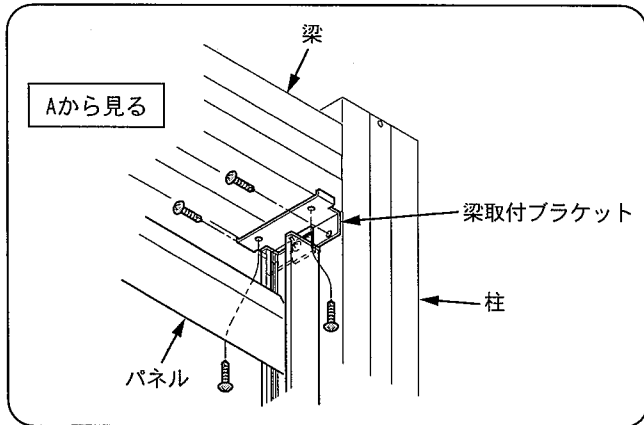
●手順① 最下段部



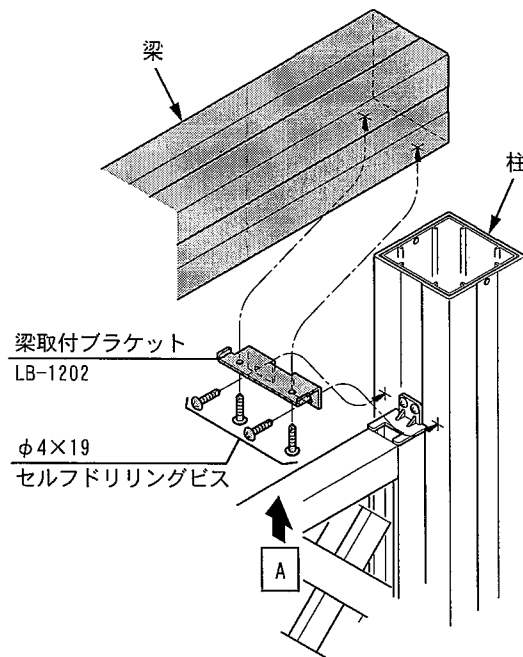
ME1521-302

3-2 梁の取付け (梁ありの場合のみ)

- ① 梁取付ブラケットを、上部固定金具の位置に仮設置してください。
- ② 梁をブラケットの位置に合わせて、ビス止めしてください。



ME1521-305



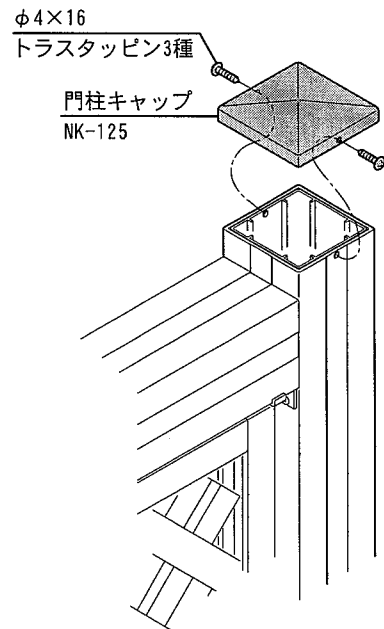
ME1521-304

3-3 柱キャップの取付け (主柱のみ)



コーナー自在柱には、キャップが取付いています。

- ① 柱キャップを主柱に取付けてください。



ME1521-306

4

パネルの切詰め

●現場の寸法に合わせ、パネルを切詰め使用する場合に参照してください。



- アルミ部分の切断については、サッチャーを使用してください。
- 連続切断により、樹脂部分が熱を持たないようにしてください。
- 高さ方向は切詰めしないでください。

■ラチスパネルの場合



ラチスパネルは、縦枠と上下枠ではさみ込まれています。

- ①組立ビスを外し、片側の縦枠を取外してください。
- ②上下枠中間部の中間固定ビスを外し、ラチスパネルを取出してください。
- ③ラチスパネルを切詰めてください。



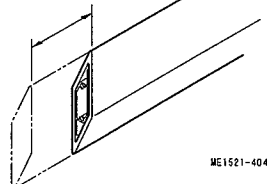
切断部が同じ形状になるように、右図のピッチ(122.8mm)毎で切詰めてください。

- ④上下枠を、パネルと同じ寸法で切断してください。
- ⑤分解と逆の手順で、ラチスパネルを組立ててください。

■ルーバーパネルの場合

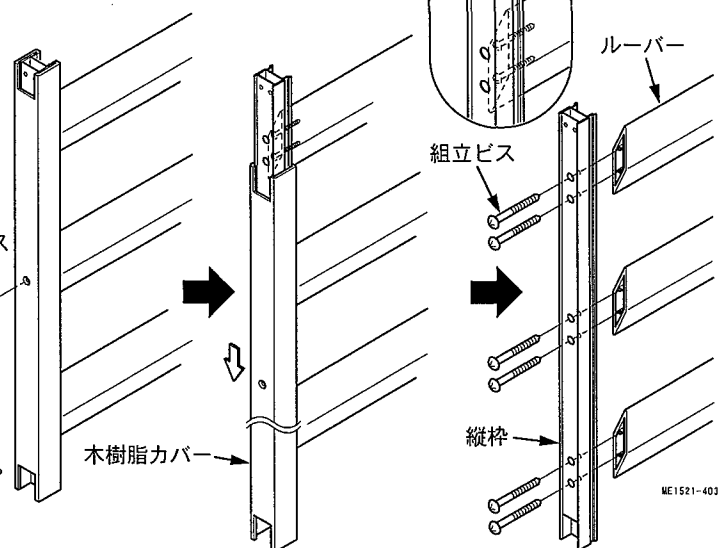
- ①カバー固定ビスを外し、木樹脂カバーをスライドさせて取外してください。
- ②組立ビスを外し、縦枠を取外してください。
- ③ルーバーを任意の寸法で切断してください。

任意の寸法を切断



ME1521-404

カバー固定ビス



ME1521-403

- ④分解と逆の手順で、ルーバーパネルを組立ててください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。

施工完了日 年 月 日

施工工事店	TEL () -
販売店	TEL () -